

□鍛えあげインターンシップって？

鍛えあげインターンシップは、従来の職場見学などに終始しがちなインターンシップから一歩踏み込み、学生さんがインターンシップをただの経験として終わらせるのではなく、その経験を通して自分の興味や関心、また強みなど【自己理解】を深める事を目的としています。

□体験型インターンシップとの違い

体験型インターンシップと違い、インターンシップコーディネーターが皆さんのサポートを行います。また、実習参加前の準備講座(鍛えあげ講座)、受入企業との事前交流会、実習終了後はインターンシップコーディネーターとの振り返りの面談も行います。このように受け入れ先の職場とより深い関わりを持つこと、経営者や管理職の方達との深い対話を持つこと、また自分自身を見つめ直す事を重視した特別プログラムなどを経験できます。

□鍛えあげインターンシップの流れ

①申込(5月～6月)

各学部のインターンシップ担当に「鍛えあげインターンシップ」の参加申込みを行ってください。

②インターンシップ先の決定(5月～6月)

受入企業一覧から、希望する企業を選択します。申込者が定員を超える場合には、希望企業等の変更など調整を行います。

③受入企業との顔合わせ(8月)

参加学生と受入企業の事前交流会を開催します。鍛えあげインターンシップにむけた心構えや、働くことについて率直な意見交換をおこないます。

令和6年8月5日(月)10:00～11:30
多目的ホール(OLIVE SQUARE)



④準備講座～鍛えあげ講座～(8月)

「鍛えあげ講座」では、職場で必要とされるスキルである、自己理解、論理思考、リーダーシップ、フォロアシップについて学びます。

令和6年8月5日(月)12:30～16:00
多目的ホール(OLIVE SQUARE)

※③④の時間は予定です。

⑤鍛えあげインターンシップの実施(8月～9月)

夏季休業中に実施します。



⑥コーディネーターと面談(8月～9月)

インターンシップコーディネーターと個別面談を行います。インターンシップの振り返りを行うことで将来の職業選択へつなげます。

※単位認定のためには上記以外にも各学部やキャリア支援センターが行うガイダンス等に参加する必要があります。

○参加学生の声

このインターンシップを通じて、業務内容を理解するだけでなく、リーダーシップやコミュニケーションなどの社会人として欠かせないスキルを学ぶ機会を多く得た。また、同時に様々な課題を見つけ出すことができ、就職活動や残りの学校生活での明確な目標を作ることができた。

創造工学部 M.Rさん
建築関係
令和5年度参加

このインターンシップにおいて、目標をもって参加した。これらを意識することで、より学びが深まったように思う。5日間を通して、職員の方々の仕事に誇りを持ち、業務に真摯に向き合っている姿を見て、強い憧れを持ったとともに、就職活動における目標がまた一つ明確になったように思う。かけがえのない経験ができたと感じている。

法学部 W.Hさん
官公庁
令和5年度参加

その他の学生からの声はこちらから閲覧できます

